

(様式10)

[外国人研究者招へい事業]
(エイズ対策研究推進事業)

(見本)

招へい研究実績報告書

1 招へいされた外国人研究者

所属・職名 (和文) : ○○○○大学○○○研究施設(所) ○○○教授 (○○○博士)

(英文) :

氏 名 (和文) : ○○○○○○ ○○○○○○○○

(英文) :

< 1行あけ >

2 招へい申請者 (研究代表者)

所属・職名 : ○○○大学○○学部 教授

氏 名 : ○○ ○○

< 1行あけ >

3 受入研究者 (研究代表者又は研究分担者)

所属・職名 : ○○○○センター○○○○研究所○○○部長

氏 名 : ○○ ○○

< 1行あけ >

4 招へい期間 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (○○日間)

< 1行あけ >

5 研究課題 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究

< 1行あけ >

6 研究活動の概要

○月○日から○月○日までの間は○○○において○○○のメンバーを交えて○○○○○○○に関し意見交換を行った。

○月○日は○○○○○において講演会を開催した (参加者○○○名)。

○月○日から○月○日までの間は○○研究室において○○○○○○○○○○○に関する研究に従事した。

(目的、活動内容を具体的に記述すること)

< 1行あけ >

7 研究課題の成果

○○○○○○○○○によって○○○○○の点について○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....

.....〇〇〇が得られた。

このうち外国人研究者を招へいしたことによって得られた効果（成果）は、.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....である。

< 1行あけ >

8 外国人研究者のレポート（研究報告）は、別添のとおりである。

- (注) 1 用紙はA4判とすること。
- 2 ワープロ、パソコン等で浄書すること。
- 3 研究課題名は、招へい申請書（様式1）に記載した「外国人研究者と共同で行う研究課題」とすること。
- 4 研究課題の成果は、2,000字以上にまとめて記述すること。